



報道発表

2019年5月24日

株式会社 Kyulux への投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社 Kyulux（以下「Kyulux」）（本社：福岡県西区、代表取締役：安達淳治）に対する投資を実行しました。

○今回の投資の概要

Kyulux は、九州大学の安達千波矢教授が世界で初めて開発に成功した、有機 EL 向け発光材料である TADF（Thermally Activated Delayed Fluorescence：熱活性化遅延蛍光）の分子設計・合成・デバイス評価による開発、製造、販売を行うベンチャー企業です。TADF は有機 EL の発光材料の中では第 3 世代と呼ばれ、第 1 世代の蛍光材料や第 2 世代のリン光材料の課題であった、発光効率の低さ、コスト高、稀少貴金属の使用という問題を解決する発光材料として期待されています。

さらに Kyulux では蛍光材料の原理と TADF の原理を組み合わせた第 4 世代発光材料である HF（Hyperfluorescence™）の開発を進めています。HF は、多くの場合、発光スペクトルの広い半値幅による色純度が低いという TADF の課題を解消するとともにさらなる発光効率の改善が可能であり、次世代の有機 EL 発光材料として実用化が期待されています。

Kyulux は京都大学化学研究所の梶弘典教授と共同研究を実施しており、新規 TADF 材料の分子設計とデバイス性能の向上に取り組んできました。京都大学と九州大学の共同研究成果の社会実装を目指して、Kyulux への積極的な支援を続けています。

京都 iCAP は、京都大学から生まれた研究成果の実用化が見込めること、重金属フリーによる環境負荷削減が ESG（環境・社会・ガバナンス）および SDGs（持続可能な開発目標）の精神に合致することから、Kyulux への投資を決定しました。当社は、WRVI Capital GP III, LLC、三菱 UFJ キャピタル株式会社、Golden Asia Fund Ventures Ltd.、Motion Hightech Co., Ltd.、株式会社四条との協調投資において、Kyulux が実施した総額約 6.6 億円の第三者割当増資のうち約 1 億円を引き受けました。



株式会社 Kyulux 概要

設立 2015年3月

事業内容 次世代有機 EL 発光材料の開発・製造・販売

本社所在地 福岡県西区

代表取締役 安達 淳治

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学から生まれた研究成果を活用した企業を対象に投資やその他の事業支援を行うことを目的とし、2014年12月に京都大学の100%出資子会社として設立されました。2016年1月には京都大学と民間企業からの出資を受け、同社を無限責任組合員とする160億円のKYOTO-iCAP1号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長20年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」を運営しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp